

第37期 事業発展計画発表会の開催

社員代表が力強く宣言 「3つの行動目標」



宣言

我々社員一同は、第三十七期 事業発展計画を達成するために次の3つを行動に移します。

一、創業者の精神『もったいない』を念頭に置き、私たちの周りに潜んでいるムダを探し出し、改善して、効率の良い作業を行います。

一、地球、人、様々な物事に感謝し、1つの作業を丁寧に、確実に行います。

一、周囲をじっくり観察し、変化をいち早く捕らえつつ素早い対応で、お客様に安全と安心を差し上げます。

今、掲げた三つを、社員一人一人が高い意識を持ち行動することで、周りからお客様から素晴らしいと言われる人とな社になります。

以上

平成二十一年六月二十一日

社員代表 エネルギーサポート事業部

伊達山 哲也

基本方針 “環境の変化に適應し「進化」する”

お客様の「困った」は要望の変化として、一番近い社員が敏感に捉え、すぐ現場に行き、社内に報・連・相をします。同時に、自分で率先して解決案を考え、「お客様に是非使ってみたい」と言ってもらえる、「進化」した商品・サービスにします。それにより、地域のお客様の繁栄に貢献していきます。その基盤として、当社の「安全」「安心」を徹底させていきます。

私はこの事業発展計画書に従い、社員の皆さんと一緒に、今期の新たな目標を必ず達成します。
(山根)

まずは「安心・安全」から

第37期 事業発展計画発表会を開催しました

とき：平成21年6月21日 ところ：サンラポーむらくも
上記写真は、決意表明する伊達山社員。

“祝 辞”

島根中央信用金庫 専務理事 中尾博様



本日は、山陰興業株式会社第37期事業発展計画発表会をこの様に盛会に行われますこと誠におめでとうございます。

伺いますと、発表会も今回で6回目を迎えられ、役職員の皆様が「会社理念」を理解し、一致団結した取り組み努力により、厳しい経済情勢のなか一步一步計画目標実現に向けて、力強く実践されてきているところであります。

その結果として、36期決算を立派な業績で終わられ、この発表会を迎えになられましたことを心よりお喜び申し上げます。

私は、御社の創業間もない頃、営業担当者として訪問をさせていただいていました。創業者の故小村社長様は、山陰建設工業の前身、山陰アスファルト工業の創業者であり代表者として、また、私も、合併前の大田信用金庫の非常勤理事を務めていただいており、出雲地区取引先企業の重鎮としてご活躍であり、そのおりにご指導を賜りました。当時、私が創業者の先代社長様から感じた情熱、“何事にも前向きに立ち向かう先進的な挑戦者精神”は、御社の「理念」として十分に受け継がれているものであります。

これらは、御社の情報誌「エコス通信」から、社員一人ひとりの情熱がひしひしと伝わり、そのチームワークの良さにはまさに一枚岩で計画目標を達成する意気込み、さわやかな気分にさせられるも

のであります。

これは御社の「会社理念」が社員の皆様に浸透し見事に実を結んだ証と推察いたしますこととであります。また、山根社長様の下、築かれました、「顧客第一」を重んずる社風は、社員の意識と行動を変え、企業とともに社員自身が成長を願う基盤創りとなり、他社にも大きな影響、刺激を与えています。

今後も、御社が持続的発展を計るために、ライバルに負けない強い体質の企業を標榜し走り続けられることを期待してやみません。

当金庫も地域の中核たる金融機関として、地域経済社会の発展に寄与していくためにリレーションシップを重視した営業推進を通じ、御社の益々のご発展に協力させていただければ幸いです。

今後も“フェイス・トゥ・フェイス”によるリレーションシップによりまして、引き続き中小企業、地域住民の皆様に地域経済の繁栄と信頼の輪を広げられるように、役職員一致団結し誠心誠意努力いたしますので、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、御社のより一層のご繁栄、いやさかを心よりお祈り申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。

中尾様には、長年おつきあいさせていただいており、このような有り難いお言葉をいただき、感激しております。今期の目標に向かって、邁進してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

(長野)

“基調講演”

「トータルサービス企業への 進化と発展」

日本経営合理化協会
常務理事 作間信司様



どんな環境になっても利益を出すことが大事

・我社の事業は一体なんだ？

車が電気で走るようになり、油を使うところが減っている。中国地方で事業を継続していこうと考えるなら、別の商売と平行してやらないと伸びていけないでしょう。自分のところは、“便利屋”と考え、相手が「ありがとう」としてくれるなら、事業のコンセプトをはずさずに、可能性があれば何でもやってみるといいでしょう(進化)。

例えば、お客様先で定期的に発生することを、訪問したときに代行することなどです。1回させていただくと、結果が良ければ来年へとつながる。お客様

が要求されることの少し上をしてさしあげるといいでしょう。お客様の期待値のほうが高いと満足していただけません。外部の知恵を必ず取り入れて、最後まで丁寧に行う。ご縁があったところに「ありがとう」といってもらおう。

・山陰興業の周りで困っている人、困った状態は何？
自分たちが困っていること、お客様が困っていることを商品にする。

誰にでもできるサービスではダメ。高度な技術に裏打ちされたサービスが必要(深化)。

「安全」「安定品質」と「安心、信頼」がキーワードで、すべて基本に忠実にやるのが大事です。事業というのはたった1回の事故ですべてを失うこともあります。

総合エンジニアリング企業への
進化と深化で
第二創業期へ！！

“永年勤続表彰”



10年勤続表彰...中村社員

10年前の6月29日に入社しました。初心に戻り、全てが勉強だと思ってがんばります。これから、退職するまで皆さんにお知恵を拝借しながら、やっていこうと思います。よろしくお願いします。今日はありがとうございます。

“社長賞表彰”(メッセージは推薦者談)



収集チーム(大國・松本・横地・長谷川・山口)

他地区での収集量が対前年で減少している中、山陰地区では前年とほぼ同数量の収集ができました。これは、目標を訪問件数として、対前年で2,000件増が要因です。この成果に自信と誇りを持ち、目標に向かって邁進してください。



吾郷社員

お客様とのコミュニケーションによる情報で、隠岐での事故の発生をいち早く知ることができ、素早い対応に繋がりました。報連相メールの情報量と質の高さでは、他の社員の手本となるものです。今後も、お客様情報を迅速正確に社内でも共有し、お客様の「困った」の早期解決に繋げよう。



大國社員

10ヶ月におよび隠岐の島へ収集活動を広げ、収集量増加に貢献しシェアを拡大しました。対前年比221%。獲得件数25社、シェアは66%です。この成果に自信と誇りを持ち、目標に向かって邁進してください。



工事部チーム*(岡田・高橋・植尾・松原 土工)

新検査システムにより時短目標を達成しました。この短縮により1日当たりの検査基数を2.1基から3.2基(検査効率1.5倍)に実現。年度末作業の納期遅れが解消されました。これからもお客様のお役に立つ新しいサービスの開発を期待します。



榎並社員

「安心パック」の拡販に取り組み、前期は33施設で施工できました。また、報連相メールの情報量と質の高さで、お客様情報を社内でも共有することができました。今後もお客様の「困った」を解決してあげる、お客様の立場に立ったサービスの提案に期待します。



木村社員

Y社様でのトラブルに対して「なぜ？」で絞り込み、それを改善したことで、より一層信頼していただくことができました。これからもお客様の「困った」を解決してあげて、ご繁栄の手助けをしてください。



伊達山社員

工場設備の改善に取り組み、12ヶ月で10回の改善を行いました。これからも工場の安全・安心・安定を目指し、お客様の立場に立った商品作りに期待します。

“特別賞表彰”



井上社員

社員教育の一環として読書の普及に努め、感想文の提出率を高めました。本に親しむ習慣が広がっています。これからも社員が書に親しむ環境作りに期待します。



福島社員

油槽所業務や油流出現場に率先して自ら出向き、社員を指導し技術の伝承を実行しています。それらは確実に若手社員に伝承され、山陰興業の財産となっています。お客様の「困った」に率先して対応できる人材の育成をお願いします。



楠田顧問

工場設備の「安全」の重要性を指摘し、安全管理の徹底を再認識させていただきました。これからも工場の安全・安心・安定を目指し、お客様の立場に立った商品作りができるよう、ご指導をお願いします。

職場研修



毎日時間に追われる感じだった。興味を持ったのは、（再生燃料油）の水分測定で、もっとやりたいと思う。みんな、優しく接してくれてうれしかった。ありがとうございます。



笑顔がさわやかな川瀬くん

6月1日から19日まで、出雲養護学校高等部三年川瀬くんが研修を行いました。期間中は、構内の環境整備、廃棄物の引取りの手伝い、再生燃料油の水分測定などを行いました。

川瀬くんの研修の目標は、次の3点です。

自分から挨拶をする。

時間を守る。

言われたことをきちんとやる。

初日から、自分から大きな声で挨拶ができ、朝礼時には、行動四原則を大きな声で言えるようになりました。

また、余裕をもって、出社し、毎朝、玄関の掃除を行い、何事にも一所懸命に取り組み、真剣さがとても伝わりました。また、時々見せる笑顔がとてもさわやかで好感をもちました。

今回は、一人での作業が多かったですが、次回は、グループでの共同作業を試みるのもいいでしょう。私たちも初心を忘れず、何事にも真剣に取り組むことを学びました。（長野）

工場での作業を指導した伊達山社員の感想：

工場床に油をこぼしてふいていたら、「手伝いましょうか？」と声をかけてくれました。すごくうれしかったです。これからも、仕事に関わらず、困っている人を見たら、声をかけていくといいですね。

今月の改善・・・加温タンク一新

以前、加温タンクに付属している熱交換器を掃除してきれいになりましたが、すでに10年以上使用したものであるために老朽化が進んでいます。使いにくい部分もあったためタンクを作り直すことになりました。

工夫したところは、タンク上部に張ってある網の面積を大きくし、傾斜を付け、粘性の高い原料が網をスムーズに通る工夫をしました。また、温度調節弁と減圧弁を設置して、余分な蒸気を使用しないようにしました。

以前からこのタンクの上部に、蒸気回収フードが付いていましたが、回収面積が小さいために十分蒸気を回収することができませんでした。

今回、タンク上部全体を覆うフードに変更しました。これにより、高温の油を含んだ蒸気を漏らさず集めることができ、安全に作業することが出来ます。これは、家庭にある換気扇のフードのような役割です。

（木村憲）



屋外タンク配管メンテナンス

前期の屋外タンクの塗装に引き続き、今期は、配管のメンテナンスを行っていきます。錆、補修箇所を点検し、塗装して仕上げます。

各タンクに繋がっている配管の総延長は約500mバルブの数は40カ所になります。直線の部分ばかりではなく、入り組んだところも丁寧に錆を落とし、錆止め剤を塗り銀色で塗装をしていく地道な仕事です。（長野）

これから暑くなるので、熱中症に気を付けながら頑張っていきます。

（藤原）



丁寧に仕上げをする藤原社員

特別寄稿

UAE（アラブ首長国連邦）の日本食と外国人社員
株式会社Xエトロード・アンド・サービス
代表取締役社長 松宮義久様

先般、4月末から5月のはじめにかけて新インフル騒ぎの中、所用のためUAE（アブダビ、ドバイ、等の7つの首長国で構成された国です）に出張してきました。

当社は主に日本で調達した日本食の食材をアブダビに在る現地法人の子会社に輸出し、その子会社は石油開発会社（原油を掘り出している会社）等の現場で働く日本人家族への食事の供給や、当地の日本食レストランや大手スーパーマーケットに日本食を卸し販売しています。

そして、現地の子会社には3名の日本人社員と130名の外国人社員（インド人、フィリピン人、ネパール人等）が働いています。

ところで、アブダビやドバイなどでは人口の80%が外国人で、UAE人（ナショナルと呼ばれる）は人口のたった20%を占めているにすぎませんが、石油が産出されて以来、今日ではたいへん裕福な生活をしています。

一方で、ほとんどの外国人は故郷の家族に移ぎ

の多くを送金して質素に生活しています。

さて、UAEの外国企業は会社の社員数に応じて、一定の数のナショナルの雇用義務があります。

現地の子会社にも3名のUAE人が在籍していますが、残念ながら彼らは勤労意欲に乏しく、仕事の能力も高くありませんから実質的に員数外で、給料（悔しいですが高給です）だけ受取に来るといった存在です。

もともとUAEの王様が、外国人に頼る社会からの脱却を意図して外国企業に対して自国民の雇用義務の法律を作ったのですが、甘やかされている国民には今のところ効き目が無いようです。

ところで、皆様はこのような特別待遇のUAE人を幸せな国民だと思われますか？

（次月号に続きます）



中東サミット社員。前列中央が松宮様。写真は松宮様のご提供。

一斉清掃の実施

今月で28回目になります。事業発展計画発表会で発表されたように、安全で安心な作業環境づくりのためにも5S活動が大切です。今期も5S活動を推進していきましょう。

今回は、本社敷地と道路境界の木々の枝が道路に伸びてきたので、それらを伐採する作業を行いました。ヘッジトリマーを上下させての作業で、かなりの重労働です。社員で交替しながら作業しました。伸びていた枝は、すっきりと刈られ、きれいになりました。

今後においても、周囲にも目を向け、環境整備を行っていきます。

（長野）



元氣の出る言葉

中村天風師

具合が悪いときに具合が悪いと思ったら、
具合が悪いのが治るかい

（日本経営合理化協会刊「君に成功を贈る」より）

まず言葉に気をつける。言葉には、その言葉が発せられると観念を通じてその言葉の通りの影響ができてしまうという応用・作用力があるという。

消極的な言葉を発すると、どんな状態は悪い方にくでしよう。逆に積極的な言葉を発すると気持ちも上向きになり状態もよくなっていくでしょう。

「病は氣から・・・」と言いますが、まさに氣力で病氣も治るのではないかと思います。

何事にも、前向きに積極的に取り組んでいきたいと思えます。

（長野）



斐川町、荒神谷史跡公園のハスの花。七月が見頃です。

社長が推薦する今月の一冊

7月の推薦図書

人類を救う哲学（再度）

梅原猛 稲盛和夫共著 PHP研究所刊



《「国益」を守ることが傲慢さを助長している...稲盛人類を滅亡に追い込みかねないから、核の拡散を阻止すべきであるといいつつ「既に保有している我々は廃棄しない」と矛盾した論理を通そうとする。》

私は、8月15日終戦記念日が近づくにつれ、戦争、一人一人の生命にとって、命の殺し合いの意味について考えます。防衛省を退官した某元高官が、勇ましく、日本の国益を守るために、戦力を増強し、戦争も辞さない強気の外交を強調している。しかも8月11日広島原爆記念式典の会場付近で声を上げようとしているとも聞きます。

もしあの人の家族が、親しい友人が、前の戦争で戦死したり、被爆して死亡したとしても、今のように「国益」を守るために、強気一辺倒でいられるだろうか？

戦争で大切な人を失った悲しみを、いつまでも引きずる宿命を、あの人は、容易に吹っ切ることができるのだろうか？

今地球上で、戦争で、内紛によって失われる生命が、「国益を守るための傲慢さ」によって引き起こされているとしたら、その人の命は価値あるものと言えるでしょうか？

この本の中で二人の思想家は「日本人だからできること、しなければならぬこと」を強く訴えています。

(山根)

「心に吹く風」を読んで

著者：伊藤謙介

(京セラ株式会社 相談役)



「離見の見」とは、「自分の演技を客席から眺めるようにして見る」。時々、私がちょっとした問題にあたった時、〇〇さんはこんな時、どう対処するだろうか？どう発言するだろうか？と自分で悩む時があります。お客様にとって、喜ばれているのか、ビジネスとして考えるとこれで良かったのだろうか、なかなか答えが出ないです。経験値の違いもあるだろうが、部長としてこれでよいのだろうか自問自答する毎日です。

「自分の演技を客席から眺めるように見る」これは、物事を遠くから違った目線で見て、感じ取ることだと思いました。よく社長から、「鳥の目で見なさい」と言われるが、物事に集中し考えるとついつい一つのことを追いかけている自分がいます。

私の今後の課題の一つだと思いました。(松下)

発行日：毎月10日

発行：690-0025 鳥根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470

FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部長 長野

E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

原稿を公募します

本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、環境をテーマにしたものを希望します。薄謝ですが、原稿料を支払います。締め切りは、今月末です。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。

今月のクイズ

解答を下記の編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今回の賞品は、“島根ワインとジュースのセット”です。締切は7月末です。奮ってご応募ください。



Q：宍道湖に浮かぶ小島はなんという島ですか？

先月号の答えは「とびうお」でした。抽選の結果、松江市杉原さまが当選です。おめでとうございます。

応募用紙（答）

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

編集後記

国の重要文化財である松江城天守閣で結婚式を挙げるという企画があるそうです。10月から12月の第一日曜日に挙式するカップル各一組を募集します。新郎は殿様風の羽織袴、新婦は奥方風の内掛けで、親族も武者や侍女風の衣装をまとうのです。天守閣の最上階に上り、式を挙げるのだそうです。行列にはほらがいや笛、太鼓を奏で、時代絵巻に花を添えます。

挙式の費用は、衣装代や着付け料は無料で、3万円程度の挙式祭司料がかかるだけです。（交通費、宿泊費、披露宴費用などは自己負担）お殿様とお姫様気分、お安く式が挙げられ、佳い記念になることでしょう。すでに、全国から反響が多く、うれしい悲鳴ということです。結婚式も様変わりし、オリジナルな挙式を希望するカップルが増えているようです。

松江城は千鳥城とも呼ばれ、松江市民に広く親しまれています。結婚式ということで、もっと広く日本国民に優雅な姿を見ていただきたいと思います。(長野)

今月号は特集を組んだ為、お客様訪問は休みます。